



## 様式C-21 【作成上の注意】

この報告書は、研究成果報告書（C-19）を所定の期日内に提出できない場合に作成すること。  
なお、本様式を提出する時点では、研究成果報告書（様式C-19）は、日本学術振興会に提出しないこと。

1. 「機関番号」及び「研究機関名」  
研究代表者の所属する研究機関の機関番号（5桁）及び研究機関名を記入すること。
2. 「研究種目名」  
基盤研究（A）、基盤研究（B）等の研究種目名を記入すること。
3. 「研究期間」  
補助金が交付された期間（年度）を記入すること。
4. 「課題番号」  
科学研究費補助金の交付決定通知に記載された課題番号（8桁）を記入すること。
5. 「研究課題名」  
交付申請書に記載した研究課題名を記入すること。
6. 「研究代表者」
  - ア 補助金が交付された期間の最終年度の研究代表者1名を記入すること。
  - イ 研究者番号  
府省共通研究開発管理システム（e-Rad）の研究者情報に登録されている8桁の番号を記入すること。
  - ウ 氏名（所属部局・職名）  
部局名（略称可）、職名を記入すること。
7. 「交付決定額」  
交付決定額をそれぞれ記入すること。なお、間接経費の交付を受けていない場合は、間接経費欄に「0」を記入すること。
8. 「研究経過」  
この研究によって最終年度までに得られた新たな知見等の成果を、簡潔に箇条書きにするとともに、今後の研究の展開、見通し等についても記載すること。
9. 「研究成果報告書として取りまとめられない理由」  
研究成果報告書として取りまとめられない理由、研究成果の公表を一定期間差し控える理由など、所定の期日内に提出できない理由を具体的に記入すること。
10. 「研究成果の提出時期（予定）」  
研究成果の提出予定時期を記入すること。  
なお、提出が可能となった時点（原則として次年度中（1年以内））で、すみやかに「研究成果報告書」（様式C-19）を日本学術振興会に提出すること。
11. その他  
この報告書は、原則として1枚で作成すること。